

# 必ずお読み下さい

2009年12月

ジーエヌリサウンドジャパン(株)

## 【ご販売店様向け資料】 ～ レシーバーチューブの交換方法 ～

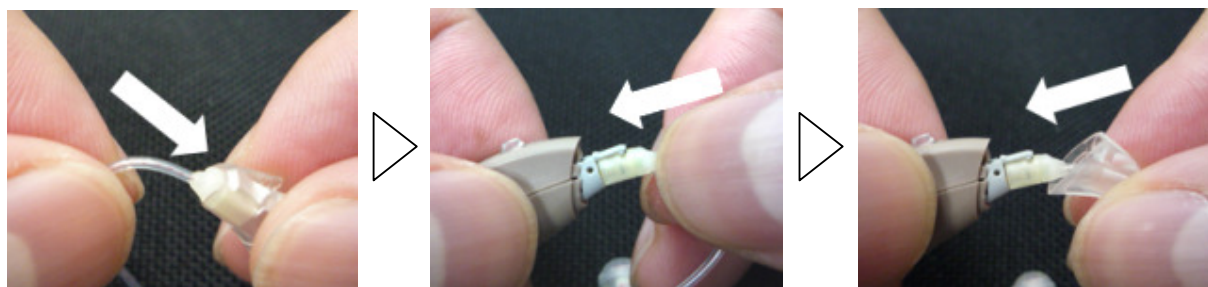
- ① 本体の透明な部分“プラグカバー”を指でつまんで外します(この時電池蓋は閉めた状態で作業して下さい)。



- ② レシーバーチューブの根元をつまんで引き抜きます。残ったプラグカバーとレシーバーチューブ根元の形状をあわせて引き抜きます(この時それぞれの向きがあてれば力は要らずスッと簡単に抜けます)。



- ③ レシーバーチューブをセットする時は逆の手順となります。まずはレシーバーチューブをプラグカバーに通します。レシーバーチューブの端子部を補聴器本体の端子部に根元まで差し込み、プラグカバーを戻して完了です。

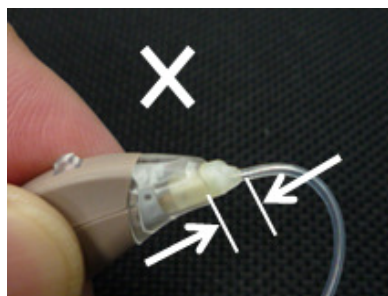


裏面もお読み下さい⇒

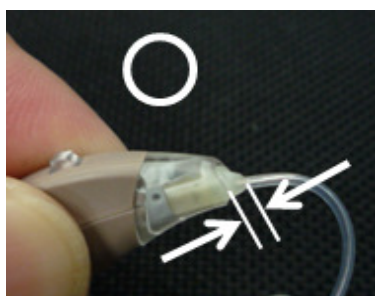
## 【お願い】 ↓ ↓ ↓ 下記の点にご注意下さい ↓ ↓ ↓

### ◆レシーバーチューブは根元まで確実に差し込んで下さい◆

⇒奥まで正しく差し込まれていないと、調整ソフト(Aventa)へ接続は出来ても補聴器から音が出ないといった症状が発生します。このような場合は奥まで差し込んで頂くと音が出るようになります。



悪い例) 根元のパーツが飛び出している

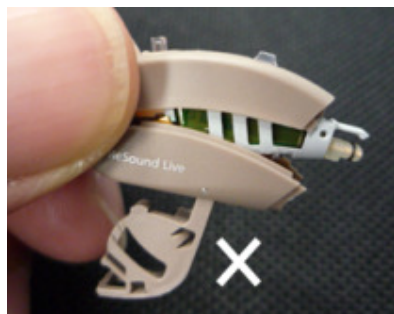


良い例) 根元までしっかり入ってガタつきが無い状態

### ◆レシーバーチューブ交換時は電池蓋を閉じて下さい◆

⇒プラグカバーを外した時に電池蓋が開いているとハウジングが外れてしまう可能性があります。

必ず電池蓋を閉じた状態でハウジングを指で持ってプラグカバーを外して下さい。それでも心配という場合はハウジングにセロハンテープ等を巻いた状態にて作業して下さい。



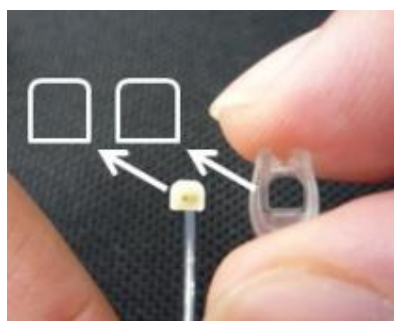
電池蓋が開いているとハウジングが外れます



セロテープで固定した状態

### ◆交換時、プラグカバーとレシーバーチューブの向きを確認して下さい◆

⇒プラグカバーからレシーバーチューブを抜き取る際に、お互いの形状(向き)を合わせずに無理に引き抜こうとすると強く引っかかり、抜けなくなる恐れがあります。抜き取るのに力は要りません。必ずお互いの向きを合わせてから引き抜いて下さい。



レシーバーチューブとプラグカバーの穴にはこの様な形状がつけられています。